

特別講演 1

6月4日(土) 14:00~14:50 第2会場(F203+204)

司会：林 剛彦（医療法人爽林会 ハヤシクリニック 院長）

SP-1 在宅医療における慢性痛とその治療 –慢性痛を『難治性』にしているものは何か？–

北原 雅樹

東京慈恵会医科大学 麻酔科学講座 准教授／東京慈恵会医科大学附属病院 ペインクリニック 診療部長

特別講演 2

6月4日(土) 16:30~17:10 第1会場(F201+202)

司会：宮下 正夫（日本医科大学千葉北総病院 副院長／
外科・消化器外科部長）

SP-2 エッグツリーハウスのグリーフケア

西尾 温文

順天堂大学医学部附属順天堂医院 がん治療センター 心理士

一般社団法人 The Egg Tree House 代表理事

特別講演 3

6月5日(日) 13:30~14:20 第1会場(F201+202)

司会：安藤 高朗（医療法人社団永生会 理事長）

SP-3 多死時代の生きる意味と覚悟

上田 紀行

東京工業大学 教授／リベラルアーツ研究教育院長

教育講演 1

6月4日(土) 13:00~13:50 第2会場(F203+204)

司会：谷水 正人（国立病院機構 四国がんセンター
副院長・緩和ケア内科 部長）

EL-1 在宅静脈栄養を安全かつ有効に実施するために

井上 善文

大阪大学 国際医工情報センター 栄養デバイス未来医工学共同研究部門 特任教授

教育講演 2

6月4日(土) 15:00~16:20 第1会場(F201 + 202)

司会：白土 辰子（元 東洋英和女学院大学 教授）

EL-2 苦しむ人への援助と5つの課題

小澤 竹俊

めぐみ在宅クリニック 院長

教育講演 3

6月5日(日) 11:00~11:50 第1会場(F201 + 202)

司会：井上 幸一（井上歯科クリニック 院長）

EL-3 歯科大学専門診療科における在宅摂食嚥下医療の実際 —頸部聴診法と嚥下内視鏡検査による診断と間接訓練・直接訓練の供覧—

高橋 浩二

昭和大学歯学部 スペシャルニーズ口腔医学講座 口腔リハビリテーション医学部門 教授

教育講演 4

6月5日(日) 11:00~11:50 第2会場(F203 + 204)

司会：山内 亮史（旭川大学／旭川大学短期大学部 学長）

コメンテーター：山崎 摩耶（元衆議院議員／旭川大学 特任教授）

EL-4 在宅医療を担う看護人材育成

山田 雅子

聖路加国際大学 看護学部 教授

教育講演 5

6月5日(日) 15:00~15:50 第2会場(F203 + 204)

司会：久米 毅（株式会社 MSS 代表取締役社長）

EL-5 在宅医療の質を上げる食事と栄養

溝口 徹

医療法人回生會 新宿溝口クリニック 院長

在宅ケア教育セミナー

6月4日(土) 9:00~10:40 第1会場(F201 + 202)

司会：増田 都志彦（横浜中央病院 緩和ケア部 部長）

ES1-1 在宅ケアに必要な麻薬の知識

鈴木 勉

星薬科大学薬学部 薬物依存研究室 特任教授・名誉教授

ES1-2 在宅ケアと緩和ケア

奈良林 至

公益財団法人がん研究会 有明病院 緩和治療科 部長

ES1-3 在宅ケアと患者心理

安達 昌子

慶應義塾大学病院 緩和ケアセンター／医療法人社団博腎会 野中医院／
NPO 法人浅草かんわネットワーク研究会

日本在宅医学会合同在宅ケア教育セミナー

6月4日(土) 10:50~11:50 第1会場(F201 + 202)

司会：平原 佐斗司（第18回日本在宅医学会大会 大会長／
梶原診療所）

ES2-1 在宅緩和に有用な医療機器

吉澤 明孝

医療法人社団愛語会 要町病院 副院長・要町ホームケアクリニック

ES2-2 在宅の専門医制度と、在宅医のキャリアプラン

木下 朋雄

医療法人社団曙光会 コンフォガーデンクリニック 院長

シンポジウム 1

6月4日(土) 13:00~14:50 第1会場(F201 + 202)

「介護者／家族のケアと遺族ケア」

司会：西尾 温文（順天堂大学医学部附属順天堂医院 がん治療センター）

S1-1 病気の子どもを持つ家族のケア —小児科医の立場から

加藤 陽子

東京慈恵会医科大学 小児科学講座 准教授／緩和ケア診療部

S1-2 緩和ケア医が cancer survivor になって思うこと

行田 泰明

医療法人社団淳友会 わたクリニック 診療部長

S1-3 地域で支え、地域で看取る ～今なぜ医療者に死生観が必要なのか～

奥野 滋子

医療法人社団若林会 湘南中央病院 在宅診療部 部長

シンポジウム2

6月4日(土) 15:00～16:50 第2会場(F203+204)

「地域包括ケア時代の在宅医療のあり方を考える」

司会：秋山 正子（株式会社ケアーズ／白十字訪問看護ステーション
統括所長／暮らしの保健室 室長）

市場 保 （すみれホームケアクリニック 院長）

S2-1 在宅緩和ケアの課題

大岩 孝司

医療法人社団修生会 さくさべ坂通り診療所 院長

S2-2 病診連携、医・介連携再考 ～地域包括ケアの仕上げをどうするか～

高瀬 義昌

医療法人社団至高会 たかせクリニック 理事長

S2-3 在宅緩和ケアの普及によって生まれる医療・地域社会の新しい姿

蘆野 吉和

社会医療法人北斗 地域包括ケア推進センター センター長

S2-4 点から面へ戦略 ～笑顔で生き、笑顔で死ぬる～

小笠原 文雄

日本在宅ホスピス協会 会長／医療法人聖徳会 小笠原内科 理事長兼院長

シンポジウム3

6月5日(日) 9:00～10:50 第1会場(F201+202)

「在宅医療における摂食嚥下障害と認知症への歯科的対応」

司会：齊藤 裕志（医療法人社団 さいとう歯科診療室 院長）

S3-1 歯科訪問診療の現状と今後の課題

齊藤 裕志

医療法人社団 さいとう歯科診療室 院長

S3-2 摂食嚥下障害への歯科的対応

藤本 篤士

医療法人溪仁会 札幌西円山病院 歯科

S3-3 地域歯科医療での認知症高齢者の口腔管理と終末期の寄り添い

枝広 あや子

東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と介護予防研究チーム

S3-4 「食べること」への歯科からのアプローチ

一瀬 浩隆

医療法人憲仁会 山谷歯科医院／気仙沼市立本吉病院

シンポジウム4

6月5日(日) 9:00~10:50 第2会場(F203+204)

「円滑な病診連携を目指して「家族・社会の変化に対応する在宅緩和ケアのあり方」

司会：大谷 剛正（医療法人興生会 相模台病院 病院長）

三浦 邦久（社会医療法人社団順江会 江東病院 副院長）

S4-1 都市型在宅医療連携の課題と解決策

常喜 達裕

東京慈恵会医科大学 患者支援・医療連携センター センター長／東京慈恵会医科大学 脳神経外科 准教授

S4-2 変革を求められる病院 ～家族が在宅緩和ケアを安心して選ぶために

大松 重宏

兵庫医科大学 地域総合医療学／ささやま医療センター

S4-3 医師・薬剤師・看護師とケアマネジャーの連携による地域医療の質の向上

今津 嘉宏

芝大門 いまづクリニック 院長

S4-4 調剤薬局として 終末期在宅医療に対する取り組みと課題

高木 和江

みよの台薬局グループ

シンポジウム5

6月5日(日) 14:30~16:00 第1会場(F201+202)

日米医学医療交流財団合同シンポジウム「欧米医療事情 –特にプライマリ・ケアをめぐって」

司会：橋本 正良 (埼玉医科大学病院 総合診療内科 教授)

山田 真吏奈 (日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター)

S5-1 ドイツの医療事情と在宅医療

林 督人

聖路加国際病院 麻酔科

S5-2 米国のプライマリ・ケアと日本の医療

橋本 正良

埼玉医科大学病院 総合診療内科 教授

S5-3 地域包括ケア先進国オランダにおける多職種協働プライマリ・ケア –支えあい育みあう地域づくりを目指して

堀田 聡子

国際医療福祉大学大学院 医療福祉学分野 教授

S5-4 英国のプライマリ・ケアと日本の医療 ～専門医制度を通して～

斉藤 康洋

GPクリニック自由が丘 院長／日本在宅医学会 専門医制度委員会 委員

ICTワークショップ

6月4日(土) 13:00~14:40 第3会場(F205+206)

司会：高林 克日己 (医療法人社団鼎会 三和病院 顧問)

W1-1 すこやか安心カードを共通 ID 基盤とした患者フェイスシート共有

奥村 幸光

一般社団法人日本海員掖済会 名古屋掖済会病院 情報管理センター長

W1-2 みやぎ医療福祉情報ネットワーク：MMWIN

佐藤 和生

やもと内科クリニック 院長

W1-3 多施設・多職種双方向連携を実現する佐渡地域医療連携ネットワーク 「さどひまわりネット」

佐藤 賢治

新潟県厚生連佐渡総合病院 病院長

W2-1 在宅ケアのつながる力

～地域包括ケアの時代に、看取りを巡る医療連携～

秋山 正子

株式会社ケアーズ／白十字訪問看護ステーション 統括所長／暮らしの保健室 室長

W2-2 北区地域包括ケアにおける訪問看護師の役割

平原 優美

日本訪問看護財団 あすか山訪問看護ステーション 統括所長

「CVポートを使いこなそう！」

司会：高橋 慶一（がん・感染症センター 都立駒込病院 外科）

- 9:00~9:20 **ポートの歴史と CV ポート利用の現状**
講師：高橋 慶一（がん・感染症センター 都立駒込病院 外科）
- 9:20~9:30 **CV ポート留置のためのアプローチ法**
講師：瀬瀬 真一郎（獨協医科大学越谷病院 外科／草加グリーンクリニック 副院長）
- 9:30~10:25 **CV ポート留置法の実際**
(9:30~9:50) **1) 内頸アプローチ**
講師：瀬瀬 真一郎（獨協医科大学越谷病院 外科／草加グリーンクリニック 副院長）
- (9:50~10:15) **2) 上腕ポートの利点と作成方法**
講師：坂元 克考（愛媛大学医学部 肝胆膵・乳腺外科）
- (10:15~10:25) **3) 鎖骨下アプローチ（ランドマーク法）**
講師：高橋 慶一（がん・感染症センター 都立駒込病院 外科）
- 10:25~10:35 質疑応答
- 休憩（10分）
- 10:45~10:55 **ポートの構造の理解**
講師：瀬瀬 真一郎（獨協医科大学越谷病院 外科／草加グリーンクリニック 副院長）
- 10:55~11:15 **体験：ポートに針を刺してみよう（デモと穿刺の実際）**
講師：坂元 克考（愛媛大学医学部 肝胆膵・乳腺外科）
- 11:15~11:25 **ポートのメンテナンス**
講師：瀬瀬 真一郎（獨協医科大学越谷病院 外科／草加グリーンクリニック 副院長）
- 11:25~11:45 **CV ポートの合併症とその対策**
講師：坂元 克考（愛媛大学医学部 肝胆膵・乳腺外科）
- 11:45~11:55 質疑応答

ランチョンセミナー1

6月4日(土) 12:00~12:50 第1会場(F201 + 202)

司会：井上 大輔（日本医科大学千葉北総病院 緩和ケア科 教授）
共催：塩野義製薬株式会社

LS-1 在宅緩和ケアにおけるオキファストの有用性

吉澤 明孝

医療法人社団愛語会 要町病院 副院長・要町ホームケアクリニック

ランチョンセミナー2

6月4日(土) 12:00~12:50 第2会場(F203 + 204)

司会：穴戸 英樹（医療法人社団雄樹会 穴戸内科医院 院長）
共催：第一三共株式会社

LS-2 高齢者の心不全ケアで大事なこと

清野 精彦

日本医科大学千葉北総病院 病院長／日本医科大学 循環器内科学 教授

ランチョンセミナー3

6月4日(土) 12:00~12:50 第3会場(F205 + 206)

「地域包括ケアシステム構築基盤の多職種連携システムについて」

司会：長島 公之（長島整形外科 院長／
全国医療介護連携ネットワーク研究会 理事長）

共催：株式会社日本エンブレース

LS-3-1 地域包括ケアシステム構築におけるメディカルケアステーションの有用性

土屋 淳郎

医療法人社団創成会 土屋医院 院長

LS-3-2 メディカルケアステーションの機能と最新情報 ～将来展望と可能性～

伊東 学

株式会社日本エンブレース 代表取締役 兼 CEO

ランチョンセミナー4

6月5日(日) 12:00~12:50 第1会場(F201+202)

司会：小西 正矩（株式会社ピー・アンド・シー フラワー薬局）
共催：大鵬薬品工業株式会社

LS-4 薬剤師の多職種連携と地域包括ケアの取り組み

富沢 道俊

富沢産業株式会社 統括部長／とみざわ薬局 大和店

ランチョンセミナー5

6月5日(日) 12:00~12:50 第2会場(F203+204)

司会：城谷 典保（医療法人社団鴻鵠会 理事長）
共催：ニプロ株式会社

LS-5 仮想病院空間の実現に向けて ～在宅医療を支える ICT～

前 一樹

一般社団法人地域包括ケア支援事業連合会 事務局長

ランチョンセミナー6

6月5日(日) 12:00~12:50 第3会場(F205+206)

共催：株式会社アルム

LS-6 ケーススタディ：長岡モデル

訪問看護の業務効率化を軸にした地域包括ケア構築（ICT システム）
「ボトムアップ方式」

吉田 健士

株式会社アルム メディカル ICT 事業部

イブニングセミナー

6月4日(土) 18:10~19:00 第1会場(F201+202)

司会：谷水 正人（国立病院機構 四国がんセンター 副院長・緩和ケア内科
部長）
共催：株式会社大塚製薬工場

ES 静脈栄養と脂肪乳剤

入山 圭二

長島中央病院 名誉院長

日本褥瘡学会合同企画モーニングセミナー

6月5日(日) 8:00~8:50 第1会場(F201 + 202)

司会：南 由起子 (サンシティ横浜 ケア・サービス課/
皮膚・排泄ケア認定看護師)

共催：コンバテック ジャパン株式会社

MS 在宅褥瘡の局所療法

塚田 邦夫

日本褥瘡学会 在宅医療委員会委員長／医療法人社団研医会 高岡駅南クリニック 院長

第4回 全国医療介護連携ネットワーク研究会 シンポジウム

6月4日(土) 14:50~17:50 第3会場(F205+206)

「多職種連携システム：広まる活用と高まる未来への期待」

14:50~ 開会の挨拶：長島 公之（全国医療介護連携ネットワーク研究会 理事長）

14:55~ はじめに あなたも始められる多職種連携システム

長島 公之（栃木県医師会 常任理事、全国医療介護連携ネットワーク研究会 理事長）
～具体的な始め方と実践方法～

15:20~

【第1部】地域で広まるICT ～活用と応用～

座長：山下 巖（全国医療介護連携ネットワーク研究会 理事）

演題 栃木県の取り組み

長島 公之（栃木県医師会 常任理事、全国医療介護連携ネットワーク研究会 理事長）

演題 としま医介連といけよんプロジェクト ～地域包括ケアシステムへの取り組み～

土屋 淳郎（医療法人社団創成会 土屋医院 院長、全国医療介護連携ネットワーク研究会 理事）

演題 独居がん末期患者の在宅看取り症例

村崎 佳与子（医療法人社団重光会 本町訪問看護ステーション 代表）

演題 三鷹市エリアでの取り組み

東郷 清児（東京都三鷹市 東郷医院）

演題 武蔵村山市エリアでの取り組み

小関 雅義（東京都武蔵村山市 おぜきクリニック）

～ その他含め合計10事例を発表予定 ～

パネルディスカッション

16:50~

【第2部】多職種連携システムの未来

座長：伊東 学（株式会社日本エンブレース）

テーマ1 世界のヘルスケアIT 動向

テーマ2 システム間接続のこれから

テーマ3 診療報酬とHPKI

テーマ4 遠隔診療とICT 活用

17:47~ 閉会の挨拶：山下 巖（全国医療介護連携ネットワーク研究会 理事）

※演題や講演者は変更になることがあります。

「地域の医療連携 ー退院支援、IT、他職種連携(1)」

座長：横田 美幸（公益財団法人がん研究会 有明病院 副院長／麻酔科部長）

飯島 勝矢（東京大学 高齢社会総合研究機構 准教授）

- 01-1 在宅死に至ったがん患者家族に対する療養支援の現状
～療養支援を行う看護師の立場から見えたこと～
丹下 みつる¹⁾、津田 享志²⁾、保科 かおり¹⁾
¹⁾ 聖マリアンナ医科大学病院 メディカルサポートセンター、²⁾ 聖マリアンナ医科大学 臨床腫瘍学講座
- 01-2 在宅緩和医療推進に向けた地域連携への取り組み
～iPadを活用した事例検討を含む交流会を開催して～
平野 千穂、竹重 俊幸、中川 みどり、柏木 久美子、富田 佳加
公立大学法人福島県立医科大学 会津医療センター附属病院
- 01-3 PCAポンプを用いた在宅緩和ケアにおいて診療所薬剤師および地域薬局間連携が有効に機能した1例
川名 三知代¹⁾、櫻井 宏和¹⁾、弓削 治子¹⁾、初田 稔¹⁾、大須賀 悠子²⁾、廣原 正宜³⁾、串田 一樹³⁾
¹⁾ ココカラファイン薬局砧店 在宅調剤サポートセンター、²⁾ 桜新町アーバンクリニック 在宅医療部、³⁾ 昭和薬科大学
- 01-4 医療と介護の連携強化への支援（第2報）
～新宿区での在宅診療医・歯科医師・ケアマネジャーの交流会～
中村 淳子¹⁾、渡辺 友里恵²⁾
¹⁾ 新宿区 福祉部 高齢者福祉課、²⁾ 新宿区四谷高齢者総合相談センター
- 01-5 地域連携から地域統合への布石を打つ
～他職種への満足度調査を通して見えてくる今後の連携の在り方とは？～
村口 正樹、佐藤 美穂、咲間 真衣、廣瀬 憲一
医療法人社団守成会 広瀬病院 地域患者支援センター 総合相談室
- 01-6 地域に生きる人々を支えるための情報共有の在り方
～在宅支援室と病棟勤務を経験して～
佐藤 美穂、咲間 真衣、村口 正樹、井草 小百合、廣瀬 憲一
医療法人社団守成会 広瀬病院
- 01-7 地域包括ケアシステムにおける多職種連携への取り組み
～効果的なワンチーム活動の実践に向けて～
高井 俊輔¹⁾、熊田 総佳²⁾、田齊 秀章³⁾
¹⁾ 医療法人慶春会 福永記念診療所、²⁾ 株式会社 NTT データ経営研究所、³⁾ エーザイ・ジャパン

「地域の医療連携 ー退院支援、IT、他職種連携 (2)」

座長：柵山 年和（東京慈恵会医科大学 外科／成田病院 外科 部長）
串田 一樹（昭和薬科大学 地域連携薬局イノベーション講座
特任教授）

O2-1 地域の見守り役としてのかかりつけ薬局

松本 眞紀枝¹⁾、漆畑 知美¹⁾、渡辺 陸子¹⁾、荻原 美代子²⁾、廣原 正宜³⁾、串田 一樹³⁾

¹⁾ 二子薬局パーク店、²⁾ はなえケアステーション、³⁾ 昭和薬科大学

O2-2 多職種との地域連携から在宅療養へ移行した IVH 管理を要する 1 人暮らしのがん患者の在宅支援

石井 容子¹⁾、青木 真彦²⁾、人見 優子¹⁾、永岡 明子¹⁾

¹⁾ 那須赤十字病院 地域医療福祉連携課、²⁾ 那須赤十字病院 消化器外科

O2-3 晴れやかネット拡張機能ケアキャピネット「やまぼうし」による医療介護の連携

仲田 永造¹⁾、西 厚生²⁾、鶴見 尚和³⁾、土谷 千代子⁴⁾、草野 貴史⁵⁾、倉橋 重昭⁶⁾、林 晶子⁶⁾

¹⁾ 医療法人仲田医院、²⁾ 西医院、³⁾ 高梁市国民健康保険成羽病院、⁴⁾ 高梁市川上訪問看護ステーション、⁵⁾ グリーンヒル順正居宅介護支援事業所、⁶⁾ 高梁市保険課

O2-4 システムへの利用者情報集約に向けた取り組み
ーセコム訪問看護ステーション 31 拠点での活用に向けて

佐藤 十美¹⁾、東本 裕美¹²⁾、可知 郁枝³⁾、小坂 美和子⁴⁾、岩松 毅⁵⁾

¹⁾ セコム医療システム株式会社 訪問看護ステーション看護部、²⁾ セコム千葉訪問看護ステーション、³⁾ セコムとしま訪問看護ステーション、⁴⁾ セコム成城訪問看護ステーション、⁵⁾ セコム医療システム株式会社 企画・国際部

O2-5 在宅看取りに特化した居宅ケアマネジャーから見た、退院支援時の病院とケアマネジャーとの情報共有の問題点と提言

新井 薫

特定非営利活動法人在宅福祉かんわケア 大地 居宅介護支援事業所 さくら

O2-6 地域包括ケア病棟の看護師が主体的に関わる多職種カンファレンスの取り組み

花田 貴美子、井ノ畑 伸子、伊東 裕幸

宗像医師会病院

O2-7 急性期病院における独居がん患者の退院支援の重要性
～がん性疼痛を伴う乳がん終末期患者の事例からの考察～

吉田 秀行¹⁾、兼松 清果¹⁾、服部 美栄²⁾、権 雅憲¹⁾

¹⁾ 関西医科大学 外科、²⁾ 関西医科大学香里病院 地域連携部

「在宅医療と薬剤師の関わり」

座長：蘆野 吉和（社会医療法人北斗 地域包括ケア推進センター
センター長）

高木 和江（みよの台薬局グループ）

O3-1 診療所薬剤師の業務内容とその有用性の検討

今城 宏文¹⁾、今井 一登¹⁾、久島 和洋¹⁾、岸本 正人¹⁾、関谷 恭介¹⁾、香川 嘉彦¹⁾、
タルマン寺本 穂波¹⁾、曾我 幸弘¹⁾、泰川 恵吾¹⁾、串田 一樹²⁾

¹⁾鳥伝白川会ドクターゴン鎌倉診療所、²⁾昭和薬科大学

O3-2 小規模多機能施設との薬剤師の関わり方

中村 三智子

日本調剤株式会社 健保施設推進部

O3-3 パーキンソン病患者の在宅での服薬管理

藤巻 洋子¹⁾、渡辺 美穂²⁾、渡辺 陸子³⁾、山岡 桂太⁴⁾、廣原 正宜⁵⁾、串田 一樹⁵⁾

¹⁾(有) 丈夫屋 メディカル薬局、²⁾(有) 丈夫屋 二子薬局都筑店、³⁾(有) 丈夫屋、

⁴⁾医療法人社団 ARCWELL 田園二子クリニック、⁵⁾昭和薬科大学

O3-4 通所介護における施設薬剤師および多職種連携の必要性

中野 匡介¹⁾、浅見 友一¹⁾、石内 茉莉佳¹⁾、峰川 久美子²⁾、池田 えり子²⁾、林 由直²⁾、亀山 俊¹⁾、
飯塚 敏美¹⁾、原 広子²⁾、堀口 雅巳¹⁾

¹⁾望星薬局、²⁾りんどうデイサービスセンター国府

O3-5 在宅医療ならびにフィジカルアセスメントに対する患者の理解度調査

吉川 泰博¹⁾、北小路 学¹⁾、大鳥 徹¹⁾、松野 純男¹⁾、松山 賢治¹⁾、吉川 恵司²⁾

¹⁾近畿大学 薬学部、²⁾株式会社自分薬局

O3-6 在宅療養者の適正な薬物治療推進に向けて ～地域包括支援センターと薬局の連携～

大野 泰規¹⁾、平馬 崇¹⁾、石川 隆雄¹⁾、藏満 智子¹⁾、山影 ひとみ¹⁾、廣原 正宜²⁾、串田 一樹²⁾

¹⁾株式会社ヴェルペンファルマ、²⁾昭和薬科大学

O3-7 在宅療養者に薬局薬剤師が寄り添うということは
～薬の適正使用推進に向けた薬剤師の活動～

市川 順子¹⁾、望月 弘恵¹⁾、佐藤 佳美¹⁾、唐澤 淳子²⁾、廣原 正宜³⁾、串田 一樹³⁾

¹⁾しんまち薬局、²⁾新つるみ薬局、³⁾昭和薬科大学

一般演題4

6月4日(土) 17:20~18:00 第1会場(F201+202)

「在宅緩和ケア」

座長：西尾 温文（順天堂大学医学部附属順天堂医院 がん治療センター）

- 04-1 **A病院訪問看護の現状と役割 ～病院から地域への連携を事例考察する～**
岡田 悦子、水谷 ふみ江、山本 哲夫
独立行政法人国立病院機構 米子医療センター
- 04-2 **癌終末期患者の在宅療養における主治医の役割**
川畑 恵¹⁾、藤原 葉子²⁾、川畑 秀伸³⁾
¹⁾ 勤医協中央病院 緩和ケア科、²⁾ ホームケアクリニック札幌、
³⁾ 北海道大学大学院医学研究科 医学教育・総合診療医学講座
- 04-3 **一般病院の緩和ケア外来は在宅医療にどう関わるのか**
三村 卓司¹⁾、西井 清徳²⁾
¹⁾ 社会医療法人緑社会 金田病院 外科、²⁾ 社会医療法人緑社会 金田病院 薬剤課
- 04-4 **がん未告知の患者を「自宅で過ごさせたい」家族の思いに寄り添い、最期まで入院せず自宅で看取りとなった1例**
松岡 実和
国家公務員共済組合連合会 舞鶴共済病院
- 04-5 **在宅だからできる事 ～患者様に与えた変化～**
豊崎 恵子、中間 良子、島崎 周子、吉岡 裕太、清水 武志、曾我 幸弘、泰川 恵吾
医療法人鳥伝白川会 ドクターゴン診療所

一般演題5

6月4日(土) 17:00~18:00 第2会場(F203+204)

「在宅医療の進歩と工夫」

座長：福田 能啓（医療法人協和会 第二協立病院 院長）

荻野 美恵子（北里大学医学部附属新世紀医療開発センター
横断的医療領域開発部門 包括ケア全人医療学）

- 05-1 **在宅超音波検査による間質性肺炎の鑑別診断**
泰川 恵吾^{1,2,3,4)}、関谷 恭介²⁾、久島 和洋³⁾、香川 嘉彦²⁾、タルマン寺本 穂波²⁾、千葉 晴子²⁾、
清水 武志¹⁾、曾我 幸弘²⁾
¹⁾ ドクターゴン診療所、²⁾ ドクターゴン鎌倉診療所、³⁾ ドクターゴン四島診療所、
⁴⁾ 看護小規模多機能型サービス ゴン

- 05-2 病院と在宅をつなぐ連携 ～お家で、自分らしく生きるを事例をとおして考える～
 荻原 美代子¹⁾、入野 弘美¹⁾、山岡 桂太²⁾、渡辺 陸子³⁾、廣原 正宜⁴⁾、串田 一樹⁴⁾
¹⁾二子薬局はなえケアステーション、²⁾田園二子クリニック、³⁾二子薬局、⁴⁾昭和薬科大学
- 05-3 在宅医療・介護連携推進事業担当者の業務内容・役割 ータイムスタディによる検討
 松本 佳子¹⁾、吉江 悟¹⁾、稲荷田 修一²⁾、野口 麻衣子³⁾、太田 沙紀子⁴⁾、御子柴 直子⁴⁾、山中 崇¹⁾、
 飯島 勝矢⁴⁾、辻 哲夫⁴⁾
¹⁾東京大学医学部 在宅医療学拠点、²⁾柏市 保健福祉部 地域医療推進室、
³⁾東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻 成人看護学分野、
⁴⁾東京大学高齢社会総合研究機構
- 05-4 大量腹水患者の在宅希望を叶える！
 ～改良型腹水濾過濃縮再静注法（KM-CART）による積極的症候緩和による在宅移行～
 松崎 圭祐、森田 祥子、池田 博斎、吉澤 明孝
 要町病院 腹水治療センター
- 05-5 膀胱癌性腹水緩和療養において補完代替医療を併用した1例
 山田 修司、大平 勇二、末吉 真樹、柳沢 みすず、山田 美幸
 JA 愛知厚生連 知多厚生病院
- 05-6 高齢男性の老人クラブ等の交流活動への継続参加要因
 渡邊 節子
 名古屋市立大学看護学部
- 05-7 オール東灘で行こう！ ～神戸市東灘区「在宅医療アンケート」から見えてきたもの
 遠山 治彦
 東神戸病院 内科
- 05-8 在宅介護を続けながら生活している家族の気持ちを知る
 滝澤 里織、佐藤 美穂、若林 れい子、佐藤 恵子、高群 麻美、鎌田 順子、小林 直美、小山 美紀、
 小川 琴子、井草 小百合、廣瀬 憲一
 医療法人社団守成会 広瀬病院

「地域での看取り」

座長：城谷 典保（医療法人社団鴻鵠会 理事長）

谷水 正人（国立病院機構 四国がんセンター 副院長・緩和ケア内科部長）

O6-1 ショートステイを利用した看取り2例を経験して

細田 亮¹⁾、川上 幸代¹⁾、柳村 由香²⁾、梅本 実祐希²⁾、土田 せつ子²⁾、佐藤 祐子²⁾、河野 正子²⁾、岩谷 智子²⁾、岩谷 幸治²⁾、菅原 暁^{1,2)}¹⁾医療法人社団豊寿会 くぬぎ山ファミリークリニック、²⁾社会福祉法人高嶺福社会 初富の里

O6-2 独居高齢者が「住み慣れた地域で最期を迎える」ためには医療・福祉・地域住民の連携で支えた末期がん独居老人の看取り

上川 寿子、小林 美紗子、高橋 久美子、秋宗 知代、上田 美穂子、増田 美也子、中村 志穂、田井中 直子、矩 照幸、山本 明、馬場 忠雄

医療法人友仁会 訪問看護ステーション すずらん

O6-3 早期から地域多職種と緩和ケア外来や緩和ケア病棟が連携し、在宅支援チームとして支える癌終末期患者の在宅看取り

吉村 純彦、若原 鉄平、橋本 みさ子

高砂市市民病院 緩和ケア内科

O6-4 在宅での看取りを支える ～多職種とのデスクンファレンスからみえた今後の課題～

柏木 純子

市立福知山市民病院

O6-5 看取り症例からみた地域包括ケア

市原 利晃、後藤 和也

秋田往診クリニック

O6-6 終末期の患者と家族のサポート体制構築のために

郷古 洋子、佐藤 美希、高橋 真由美

公益財団法人宮城厚生協会 坂総合クリニック 在宅医療室

O6-7 在宅看取りを可能にする訪問看護師の対応 ～A病院の在宅医療の取り組み～

伊丹 加奈子、平井 千鶴、水田 和代

徳島県立海部病院

「在宅医療と教育」

座長：竹山 廣光（名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器外科 教授）

- 07-1 薬剤師が在宅医療に参画する研修のあり方
～患者を選ばない、時間を選ばない、場所を選ばない、医療人マインドの醸成～
串田 一樹
昭和薬科大学
- 07-2 急性期病院職員に在宅医療に関心を持たせる方策
－魅力発信経営プロジェクトによる多職種協働－
沖野 孝¹⁾、清水 和也²⁾、川嶋 剛史³⁾、渡邊 一良³⁾、芳尾 邦子⁴⁾、谷川 敬二⁵⁾、田中 将之⁶⁾、
今中 雄一^{6,7)}
¹⁾ 公立甲賀病院 院長代行、²⁾ 公立甲賀病院 院長、³⁾ 公立甲賀病院 副院長、⁴⁾ 公立甲賀病院 看護部長、
⁵⁾ 公立甲賀病院 事務長、⁶⁾ 特定非営利活動法人日本医療経営機構、
⁷⁾ 京都大学大学院医学研究科 医療経済学分野
- 07-3 看護師の特定（医療）行為と医療者の意識アンケート調査の結果から
小林 美紗子、高橋 久美子、上川 寿子、秋宗 知代、上田 美穂子、増田 美也子、中村 志穂、
田井中 直子、矩 照幸、馬場 忠雄、山本 明
医療法人友仁会 訪問看護ステーション すずらん
- 07-4 薬学生の在宅医療訪問同行の意義
小橋 紀子¹⁾、高橋 葉月¹⁾、柴 由佳¹⁾、池川 智美¹⁾、山下 雄也²⁾、唐澤 淳子³⁾、塩田 純一⁴⁾、
廣原 正宜⁵⁾、串田 一樹⁵⁾
¹⁾ (株) ヒューメディカ 汐田薬局、²⁾ 横浜薬科大・学生、³⁾ (株) ヒューメディカ 新つるみ薬局、
⁴⁾ うしおだ在宅クリニック、⁵⁾ 昭和薬科大
- 07-5 看護系大学生にみる職業アスピレーションの内実
－在宅医療の必要な子どもとの関わりが看護に携わる自分に影響を及ぼしたこと－
荻原 康子
了徳寺大学 健康科学部 看護学科
- 07-6 地域における日本版アドバンス・ケア・プランニング（ACP）ファシリテーター養成の
実現可能性研究
西川 満則、三浦 久幸
国立長寿医療研究センター 人生の最終段階における医療体制整備事業 事務局
- 07-7 高齢化率の高い地域高齢者における認知機能・生活機能への関連要因
木村 美津子
了徳寺大学

「在宅医療の障壁とマネジメント」

座長：山口 佳之（川崎医科大学 臨床腫瘍学 教授）

08-1 自動排泄処理装置による患者及び介護者の QOL への影響

高山 哲朗^{1,2)}、行田 泰明¹⁾、木俣 有美子¹⁾、首藤 真理子¹⁾、川内 潤也¹⁾、石川 祐輔¹⁾、白濱 淳¹⁾、渡辺 淳子¹⁾¹⁾医療法人社団淳友会 わたクリニック、²⁾予測医学研究所

08-2 演題取下げ

08-3 がんになっても死ぬまで在宅で、がんサバイバシッブと在宅医師自身が進行がんになって再認識したこと

高柳 英夫、埴 和江、木村 朋子

NTT 東日本札幌病院 精神科

08-4 在宅療養者のリスクマネジメントのあり方の検討

ー災害時にハイリスク状態に直面した在宅療養者の行動からー

畑 吉節未

神戸常盤大学保健科学部看護学科

08-5 在宅訪問時の居室室温、湿度及び暑さ指数から熱中症が予防できるか？

菅野 壮太郎¹⁾、青山 寿久¹⁾、藤巻 秀文¹⁾、谷川 亮二¹⁾、佐東 博子²⁾、古園 弘美²⁾、梶野 千春²⁾、清宮 恵美²⁾、齊藤 美香²⁾¹⁾社会医療法人財団石心会 さやま総合クリニック 居宅療養室 診療部、²⁾社会医療法人財団石心会 さやま総合クリニック 居宅療養室 看護部

08-6 外来で化学療法を受けるがん患者を支援する外来看護師の感じる在宅看護との連携の阻害要因

府川 晃子、田中 登美

兵庫医療大学 看護学部

08-7 病気と共に家で生活する

入野 弘美¹⁾、荻原 美代子¹⁾、山岡 桂太²⁾、藤巻 洋子³⁾、渡辺 睦子³⁾、廣原 正宣⁴⁾、串田 一樹⁴⁾¹⁾二子薬局はなえケアステーション、²⁾田園二子クリニック、³⁾メディカル薬局、⁴⁾昭和薬科大学

「在宅における褥瘡管理／呼吸管理／透析／栄養管理」

座長：英 裕雄（医療法人社団三育会 理事長）

森本 昌宏（近畿大学医学部 麻酔科学講座 教授）

- 09-1 持ち込み褥瘡患者における再入院患者の割合と状況分析
倉本 雅男、渡辺 光子、臼井 舞
日本医科大学千葉北総病院 看護部
- 09-2 在宅における創傷、褥瘡ケア ～その問題点と対応策
水原 章浩¹⁾、田口 明美²⁾、佐藤 美香子²⁾、小島 かつ江²⁾
¹⁾三和会 東鷺宮病院 循環器・血管外科 褥瘡・創傷ケアセンター、²⁾三和会 東鷺宮病院 看護部
- 09-3 食道癌術後の在宅療養における栄養管理の問題点について
松岡 美緒¹⁾、飯島 正平²⁾
¹⁾大阪府立成人病センター 栄養管理室、²⁾公立学校共済組合近畿中央病院 外科
- 09-4 COPD 急性増悪への治療の現況 ～在宅でいかに COPD 急性増悪を防ぎ、治療するか？
武知 由佳子
医療法人社団愛友会 いきいきクリニック
- 09-5 持続注入法に週1回の間欠注入法を導入した事で QOL が改善した HPN 症例
ー在宅輸液療養患者への薬剤師の関わりー
武田 浪弘¹⁾、濱名 智子¹⁾、岡 豊香¹⁾、廣原 正宜²⁾、串田 一樹²⁾
¹⁾株式会社フレディ タカノ薬局、²⁾昭和薬科大学
- 09-6 当院における在宅血液透析への取り組み
高橋 計行¹⁾、中尾 弘美¹⁾、重田 由美²⁾
¹⁾医療法人計行会 高橋計行クリニック、²⁾縁結美
- 09-7 在宅血液透析（HHD）治療における看護師の関わり
中尾 弘美¹⁾、高橋 計行¹⁾、重田 由美²⁾
¹⁾医療法人計行会 高橋計行クリニック、²⁾縁結美

「在宅医療と福祉・介護の諸問題 (1)」

座長：丸山 道生 (医療法人財団緑秀会 田無病院 院長)

川越 厚 (医療法人社団パリアン クリニック川越 院長)

- 010-1 望む場所で生ききる ～介護者に優しい在宅医療を提供するためには～
内藤 道代¹⁾、具志堅 美雪²⁾、金城 美月³⁾
¹⁾内藤耳鼻咽喉科クリニック、²⁾セントラルクリニック、³⁾コザ看護学校
- 010-2 同一建物における在宅医療の適正化：個別診察の導入が高齢者の健康管理へ及ぼす影響の検討
近藤 精二、近藤 靖子、布施 美奈子
医療法人社団精樹会 さくらホームクリニック
- 010-3 在宅医療における施設非使用患者について
盛田 真樹
医療法人社団仁明会 齋藤病院 第二在宅診療部
- 010-4 在宅医療の介護負担調査
久野 慎一、高木 恒夫
医療法人弘仁会 板倉病院 訪問診療部
- 010-5 在宅介護スコアの使用を試みて ～SWG (湘南わかばグループ) 版の開発～
松本 万紀子¹⁾、森谷 記代子¹⁾、風間 都代子¹⁾、奥野 滋子¹⁾、水嶋 しのぶ^{1,2)}、石井 由紀¹⁾
¹⁾特定医療法人社団若林会 湘南中央病院、²⁾順天堂大学医学部附属順天堂医院
- 010-6 訪問入浴に従事する看護師の就業継続意志に関する研究
板谷 智也^{1,2)}、平和也³⁾、伊藤 美樹子⁴⁾
¹⁾金沢大学医薬保健研究域保健学系 看護科学領域 地域環境保健看護学分野、
²⁾大阪大学大学院医学系研究科博士後期課程、³⁾奈良県健康福祉部健康づくり推進課、
⁴⁾大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻
- 010-7 療養通所介護における多職種連携のレベルと課題 ー多職種からみた場合ー
鶴飼 知鶴、畑 吉節未
神戸常盤大学 保健科学部 看護学科

「在宅医療と福祉・介護の諸問題 (2)」

座長：谷亀 光則 (医療法人社団松和会 望星大根クリニック 院長)

O11-1 老人介護保健施設における看護管理上の問題点と課題

古川 智恵

四日市看護医療大学 看護学部

O11-2 訪問看護ステーションの24時間看護提供における時間外待機体制についてスタッフの意識調査

佐東 博子¹⁾、古園 弘美¹⁾、斎藤 美香¹⁾、清宮 恵美¹⁾、青山 寿久²⁾、菅野 壮太郎²⁾、藤巻 秀文²⁾、
谷川 亮二²⁾、梶野 千春¹⁾¹⁾社会医療法人財団石心会 さやま総合クリニック 居宅療養室 看護部、²⁾社会医療法人財団石心会 さやま総合クリニック 居宅療養室 診療部

O11-3 訪問看護ステーション併設によるサービス付き高齢者向け住宅(以下サ高住)の入居者の生活の質の向上

仁科 明美

株式会社学研ココファン

O11-4 在宅療養支援病院におけるソーシャルワーカーの役割

—地域生活の視点を持ち訪問診療に携わる意義—

咲間 真衣、佐藤 美穂、村口 正樹、廣瀬 憲一

医療法人社団守成会 広瀬病院 地域患者支援センター 総合相談課